

ふるさとの山を歩く

第1回

～みついわ～
三石山



「山頂の巨岩より眺める」
川角地区の山といえ「三石山」があげられる。川角地区と呉市昭和地区の境界上に位置する三石山は、標高が449mあり、魅力は山頂の巨岩と、そこからの眺めにある。山頂には、その名のとおり、3つの巨岩があり、初めて登頂した人は、その雄大さに驚きを隠せない。また、巨岩からは、360度の風景を楽しむことができ、眼下には熊野盆地はもろろのこと、遠くは呉市の野呂山・灰ヶ峰、広島市街・広島湾も垣間見える。

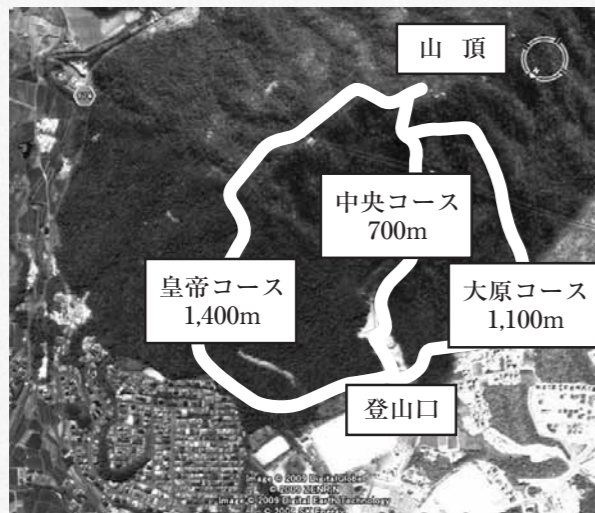
熊野第四小学校では、課外授業の一環として、全校児童がボランティアグループ「プロジェクティブみついわ」会員と登頂しており、地域住民とふれあいの中で、郷土愛を育んでいる。三石山は、第四小学校区（川角・呉地）では、もっとも手軽で身近な山のひとつとして愛されている。



▲この太いロープは海上自衛隊の廃棄処分品を活用



▲山頂の巨岩からの眺め



取材／諏訪本・立花・竹爪・尺田

教育部門

Q 中学校への給食導入

藤本 哲智 議員



▲小学校の給食時間

A 平成28年度以降の早い時点での実施を視野に入れた検討を行う。（林教育長）

A3 実施検討に当たっては、複数業者からの情報収集に努める。

Q3 食中毒等の緊急時の対応を考えると、複数業者への委託することが望ましい。現在委託している1社だけではなく、複数の業者から情報を収集することを要望する。

A2 小中学校の児童生徒と保護者を対象に、給食に関するアンケートを実施し、6月下旬に回収予定である。

Q2 アンケートを実施するということがどのような状況か。

A1 中学校への給食導入について、調査研究を行っている。

Q1 近隣市町と同条件で給食の提供を望む。

沖田 ゆかり 議員

Q 児童の発達検査

A 保護者には負担をおかけするが、子どもの将来のためご理解をいただきたい。（民法教育部長）



A2 検査キットはあるので、検査は可能だが、判断は専門家が行うため、本町では実施していない。

Q2 呉市では、教育委員会の専門職員が検査を行うと聞いたが、本町ではできないのか。

A1 広島市や呉市は、発達検査を受診できる施設等があるが、本町にはなく、町外での受診をお願いしている。他の安芸郡3町でも、専門の医療機関で受診していただいている。

Q1 小学校に通う児童保護者より、発達検査を受けるために、会社・学校を休み、町外の医療機関で受診し、費用もかかり大変負担だったと聞いた。教育委員会では対応できないのか。

諏訪本 光 議員

Q 熊野町の教育及びスポーツ行政

A 来年度からは学校施設の大規模改造事業を推進。スポーツ関係団体と連携を図り事業を進めて行く。（林教育長）



▲書道授業の風景

A2 教育委員会とNPO、スポーツ関係団体とが、相互に連携を図り事業を進めていく。

Q2 スポーツ行政の事業関係の多くがNPO団体に委託しているが、教育委員会とNPO団体はどのように連携しているのか。

A1 確かな学力の向上を目標に取り組んだ結果、小・中学校ともに着実に向上している。また、安心で安全な学校づくりとして、集中的に学校耐震化に着手しており、今年度で学校施設の耐震化が完了する。来年度からは大規模改造事業を推進する。

Q1 熊野町は、教育の町宣言をし、教育の充実に努めて来ているが、町の教育の現状と課題は。